

秋の夜空を月と花火が彩る

「二日市温泉と天拝山観月会」を開催しました

今年で83回目となる筑紫野市祭二日市温泉と天拝山観月会を天拝公園で開催しました。

満月の日である10月6日の開催を予定していましたが、悪天候のため7日に延期して開催しました。土曜日ということもあり、多くの人が来場しました。

市役所からスタートした5中学校によるご神火リレーの火がご神火台に灯されて観月会が始まり、水上ステージでは舞踊や

和太鼓などが披露されました。

また、今年九州産業大学芸術学部が制作したプロジェクト「シヨンマッピング」が水上ステージの屋根に投影され、多くの人々が感嘆の声をあげ、スマートフォンで撮影するなどして楽しんでいました。

空を覆っていた雲は時間がたつにつれて消え、クライマックスの花火が上がる頃にはきれいな月を望むことができました。

